

Rotary



安城ロータリークラブ

週報

【 No.668 2015/1 第4例会 】

例会日: 毎週金曜日

例会場: 碧海信用金庫本店3F
安城市御幸本町15-1

TEL: 0566-75-8866

FAX: 0566-74-5678

Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp

HP: http://www.anjo-rc.org

第2809回例会

2015年1月30日(金) 12:30~13:30

司会者: 外山 勝美君

ソング: 「我等の生業」

卓上花: ガーベラ・レーザーファン

ゲスト及びビジター:

シモムラ ヨウシン
下村 幸真様 三河安城RC

2014-2015年度RIテーマ:

「ロータリーに輝きを」

安城ロータリークラブ会長方針:

「楽しいロータリーを創ろう」

■会長: 永谷 文人

■幹事: 横山 真喜男

■クラブ会報: 亀島深里・辻隆士・海野広明

■創立日: S33年1月10日

■RI加盟認証日: S33年2月6日

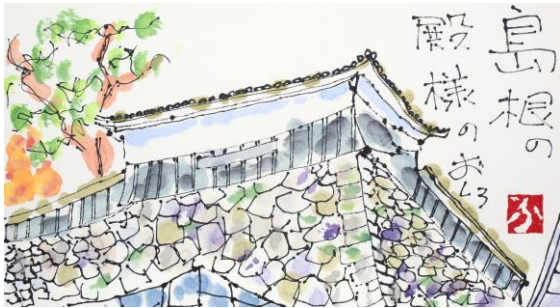


2015年ロータリー国際大会
サンパウロ(ブラジル)公式マーク

■ 会長挨拶

永谷 文人会長

① 絵手紙紹介



② 会員紹介

◆(株)プロスティール戸谷 戸谷 央君



◆ 佐々木工業(株) 市川 護君



■ 幹事報告

横山 真喜男幹事

- 2/6 11:45~定例理事会を行います。
- 功労会員の神谷信雄様が1/23深夜ご逝去されました。 謹んでお悔やみ申し上げ、心よりご冥福をお祈りいたします。

■ 出席報告

山田 庸雄君

会員	61名
出席義務者	46名
出席	38名
欠席	8名
出席免除者の出席	13名
出席率	86.44%
修正出席率	1月16日 第2807回 100%

■ ニコボックス報告

横田 秋三朗君



No.1 老人の回想記 原田慶三郎

弟や老人の戯言を申しあげます。脱線しますが
 笑って聞いて下さい。お休みの方はご自由にどうぞ!!
 私も馬鈴を重ね傘寿を向えました。(蟹の祝いは数え歳)
 人の感じる時間の長さは、その身に反比例すると
 フランスの心理学者ジヤネが「ジヤネの法則」と云っています。
 即ち、100歳を40歳の人の人生は1/3であり、80歳は1/2であり
 「人生時間」という身命を3割で割る人生を一日に
 置き換えた場合、自分が何時に居るのが分ります。
 30歳を3割する3割10、午前10時、時間は充分あります。
 60歳は2割なので午後8時で日は過ぎたか
 未だ来た、充分に楽しめる時間帯があります。
 私は80歳を3割で割ると2時で一日を過ぎています。
 残念ですが一度しか来れないこの世でありますので
 余禄を健康寿命で頑張りたいと思います。

No.2

話は変わりますが
 最近では情報過多で電子機器を駆使し事務内容を
 映像で表示して大変解り易く説明されています。
 私はそれが全然出来ませんが、しかし後れ馳せたら
 コンピューター、インターネット、キラーケイタイ、(猫の首に鈴)
 等々少しでも勉強し出来る様になりたいと思っております。
 この原稿も、Eメール、ワード文書と云われておりますが
 出来ない為、迷惑を掛ります。
 今報委員会の亀島さん、辻君、海野君。
 おみません、ごめんなさい。!!
 一言訳がつかない事が、もう20年程前になります。
 当時、ぼろぼろコンピュータが話題になり、ぼろ使い方に
 触れて見ましたが、自分の仕事に因るソフトが未だなく、
 情報が入らなくて出来ず、穴を割るしませんでした。

その内に親爺から度々聞いた故木屋も

大手、ハウス、メーカーの白頭により住居の造り方が大きく変革し

古い方は立ち行かず、変わらざるを得ませんでした。

多令的にも60才位の時は体力的にも自信がありました。

流石、65才是年制はうまく設定とありまふ。

リタイアを余儀なくされました。

誰を羨しまふか。

インターネット(デジタル)とアナログを比較すると

インターネットは情報、答えが並列に並んでいて

入力すると比較的安易に早く得られると思ひます。

対して、アナログの利点と言へば、直列的であり

単語を辞書を引き、調べものは該当しその書籍を

調べ随分時間が掛りますか、参考書を見る事まで

最近の事柄が目につく。

No
Date

点の集まりが、縁となり知識となり苦労して辿り着くは
忘れぬ事でも少なくなると思ひます。利点も多々あります。

さて、私のクラブ活動との関り合いは昭和34年・24才の

卒城青年会議所の参加から始まりました。

その活動目標は奉仕、修練、友情の三原則で

ありましたが、友情主体の基に、若さに任せて

遊が惚けと随分無茶で馬鹿な事もしました(後日譚を)

唯、沢山の知恵を得て、交流を深める中で

色々な情報を見聞きと世間の裏表を垣間

見る事が出来ました。

當時は未だ二次大戦後(昭和20年)の復興期で

経済は右肩上りで、物資の量が少なく流通もよくなる

品物を持つた者が高値出まると云う様な状況で

今日と較べれば、まあよい時代であったかと思ひます。

No
Date

No 5

そして、昭和初年10月、中東戦争の第一次勃発。ついで
 第二次と石油暴騰によるオイルショックが起きました。
 その為に生産コストアップで品物の量が縮少し価格も暴騰
 した為、その後昭和50年中頃まで非常に経済が混乱し
 景気後退の時代がかなり長い間つづきました。

以後、昭和の終り頃まで(昭和63年、平成初の頃)まで
 皆様もよくご存知のバブル経済が進んで、投機による
 生むる、实体经济とは乖離した、不動産の土地や株、等々を
 主体とした、片寄った相場景気でした(土地の値上り率並に数的)
 一般世間の高貴人は狭い高層での小商いで大変難しく、
 手元に銭がなく何がバブルだ!! 異口同音でした。

そして、その頃から国が種々の商品の規格基準を
 厳しくし、その上、価格破壊(競争)が激しさを増し、
 上規格の高価高貴、一番安く売れ、決済が一番長くしなれば
 本もず、増えは借金ばかりもたれた状況でした。

No 6

苦境に立ち、跳ね返し、次の方向を模索しましたが
 短兵急には出来ず、失敗の連続でしたが、苦境多ければ
 結果良しと思ひ進めました、よい訓練でした。バブル時代は
 善し悪しの状況を悉に見聞きと貴重の人生経験をえました。

その後平成13年、アメリカの同時多発テロ事件、
 国内では平成23年、東日本大震災と大きな事件があり
 ローターリ本体としての奉仕活動も少なからずの
 援助、貢献をしました。活動の本質は政治、経済、紛争、
 物事の得失等に一切片寄らず、純粹な形で地道な形で
 ついけて来ました。ロータリーとはそんな所です。

私とロータリーについて少々
 光陰矢の如し為免匆匆と云います。私も家族の協力
 丸47年、筋筋にたつたつた事、好運でした。

入会を許された時(昭和4年)は感謝感激の極でした。親爺の居る仏壇に向き報告したのを想い出します。

そして、現役の皆さまは①家庭生活②職業生活

③社会生活④同好のクラブ生活であります。ソウタイア後は家庭生活が主体で、社会生活少々のクラブ活動が残りました。

老後は収入少くして保障支給額は漸減し、医療費等の負担額は純増します。堪りません。老後破産と云う事に耳にレますが、頑張る生活を維持したいと思っております。

次に、もう十数年も前の事柄で時効かと思っておりますが、クラブに大きな変化がありました。平成11年前期を切りとくと

三河安城RC創立されました。

他のクラブ組織も同様によりから拡大(ラテンション)を強く推進、奨励があり、これは喫緊の問題であり

安城RCもその事には直面しました。

前記も、種々意見交換、調査研究がなされましたが、内部的には、老社青に多少の考えの相違があり、お互いに向面から見えて意見を尊重し合つて、その中に合点の道義情愛がなければなりません。シラゴ上下左右前後と分けるには、よりよい妥協点を円満に進める努力が必要であります。

併し、身日派が推進派に押し切られた状況となり、年度限りなり未だしも期半ばで実行され大幅に全組織の変更を余儀なくされました。前任の方々の責任感が聊か希薄たる事は残念に思いますが、又よい結果が得られたい感じます。けれど、安城と三河安城は親子クラブの仲であり、以来、時は経過しましたが、今後共、お互いに仲良く切磋琢磨して楽しいクラブに発展と行きたいものであります。

私は諸先輩に可愛かこ頂いた恩義がありますので、別れる気持は一切ありませんでした。当時の多くの方々も

鬼籍にのぞきました。淋しい限りであります。合掌

No 9

No.
Date

その後の秋から冬は創立50周年を近くして

各年度の会長のリーディングがよ、今年総会の努力協力

により活動内容が生れ変わった観があります。

今迄の大きな懸念事項であった地区大会担当実施も

皆名俊総実行委員長を中心に全会員の一致団結で見事

大成功で終了し、又、石川博君主体の東日本大震災の

活潑な援助活動も何回も実行されました。

はた又、周年記念事業、ハム式の担当行事、

皆さんが睦み合う同好会等々眼も見張るものがあります。

仲間と一緒の種々の場面に参加する事で物事に対する

正しい言動が出来ると人格涵養の為の老若男女関係なく

修練研鑽の場だと思っております。

親睦による一体感の醸成、その奉仕活動、あつちです。

志を同じくする良い仲間を増え、基本基準を守りながら

No 10

No.
Date

皆さんと仲を楽しく、益々多くの発展を計り

前進しましょう。私も頑張りますので、ご指導も

よろしく、相手にして下さい。終ります。

ありがとう、ありがとう!!

